

これまでの取組に復興大臣から感謝状を拝受

東日本大震災から12年が経過する中、株式会社広野町振興公社では町が進める復興と創生の歩みの中で、町民の皆さまの帰還に向けた二ツ沼総合公園の早期再開、日々多くの皆さまにご利用いただいているパークゴルフ場の運営、町の新たな観光資源を目指したバナナ栽培を始めるなど、数多くのチャレンジをしてきました。そういった取り組みの積み重ねに対して、令和5年6月13日付けで渡辺博道復興大臣から感謝状を贈呈いただきました。これも町民の皆さまや企業、団体等数多くの皆さまからのご理解とご協力があったからこそです。



拝受した感謝状

いつでも気持ちよく・楽しく・元気にご利用いただける二ツ沼総合公園の管理と町の活性化、移住定住の促進など、まだまだ取り組まなければならないことは沢山あります。今回拝受した「感謝状」に恥じないように、引き続き前を向いて歩みを進めてまいります。

トロピカルフルーツミュージアム来場者5万人達成!!

8月6日(日)、二ツ沼総合公園内のトロピカルフルーツミュージアムへのご来場者が5万人に達しました。



5万人記念のご来場グループ

2018年から新たな取り組みとして熱帯フルーツの栽培を始め、2019年から広野町産バナナ「朝陽に輝く水平線がとても綺麗なみかんの丘のある町のバナナ」(愛称「綺麗」)の出荷を開始することができ、今ではバナナジュースやシェイクの販売、福島県立ふたば未来学園の生徒たちと協力して「ふたばなクッキー、未来ドーナツ、学園マドレーヌ」の通年販売、バナナの葉を活用した卒業証書の作成などにも取り組んでいます。トロピカルフルーツミュージアムでは、バナナが実際になっている光景や栽培方法の講演、収穫時は緑色のバナナがムクのなかで熟成されていく様子を、これまで数多くの皆さまに見学していただきました。今後もこういった取り組みを継続していくことで、広野町を訪れてくれる人を一人でも増やし、町の活性化や魅力向上に努めて参ります。

一般の方でも見学可能ですので、町民の皆さまもお気軽にお越しください。



公式サイト



公式インスタ

広野文芸欄



季節を詠む 時流を讀む

広野町葉月句会 猪狩行々子選

暁月

三尺寝からだひとつの置きどころ
夜も更けて郡上おどりの下駄の音

遠藤 健太郎

風に乗る声早秋の蟬となり
父母が共に愛でぬし桔梗供ふ

芦川 鋭章

夏蛙手足踏ん張るドアミラー
向こう岸目がけ父と子草矢射る

遠藤 恵美子

弟の五十回忌や苔の花
新盆の友へ手向けの一句かな

令子

軒下を隈無く占拠蜘蛛の網
防空壕になりしトンネル終戦忌

鈴木 尚子

夕焼けや列車と田園包み込み
あいさつを交わす日焼けの通学生

塩 史子

田や畑に人の影なき酷暑かな
凌霄の花樂しげに咲きのぼる

会員募集のお知らせ

広野町俳句会では、会員を募集しています。俳句に興味のある方大歓迎です。俳句を通してみなさんと交流してみませんか。詳しくは、下の連絡先までお問い合わせください。

問 広野町俳句会 ☎090-7063-1676

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」レポート 「移住サポーターツアー」が開催されました

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」相談員の大森です。7月23日(日)に東京有楽町の東京交通会館で開催された「東北移住&つながり大相談会2023」に参加し移住検討者の相談対応いたしました。企画イベントで広野町をPRする時間があり、来場者の皆さまに「日本一美しい日の出の町」をPRしました。また、8月5日(土)、6日(日)と2日間、「クラシノガッコウ月とみかん」代表大場美奈さんが企画する移住サポーターツアーが開催されました。大場美奈さんは被災を受けた福島12市町村の移住サポーターとして今年から活動を開始し、今後、広野町の「関係人口」づくりに積極的に活動していく予定です。今回のツアーには首都圏から2名の方が参加され、たらしこみアートやライフチャート作成など体験しつつ、まち歩きを行い広野町の自然、生活環境などを肌で感じていただくことができました。

